

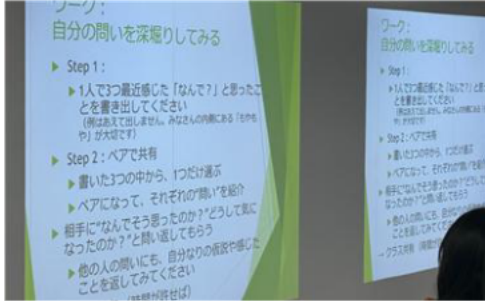


WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】


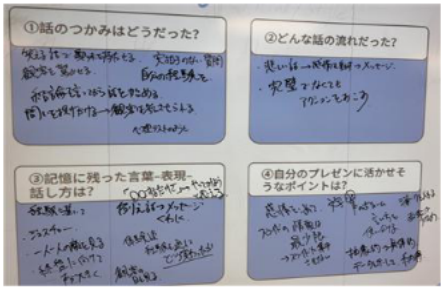

実施要項			
演題・講義内容	オリエンテーション		
講演者・指導者氏名(所属)	竹村慎吾 岡野林太郎 雑賀巖 (本校教員)		
実施日時	令和 7年 4月12日 8時 55分 ~ 12時 45分	外部講師来校日時	来校方法
授業名	KOA Global Studies I	受講対象	国際1年
実施場所	PC教室2	使用備品	プロジェクター
責任教員	岡野林太郎	指導教員	竹村慎吾 岡野林太郎 雑賀巖
役割分担	竹村…全体説明、KOA学について 岡野…ガイダンス 雑賀…PCの使用について		
目的	KOA Global Studies I の目的を知る。全員とする1分間の自己紹介でクラスメイトと話せるようにする。		
講義・講義の概要	KOA学の概要説明、教員の自己紹介、全員との自己紹介		
備考・その他	当日は各コースで学校説明会などが行われ、教室の確保が難しかった。全員の自己紹介のやり方は、必ず事前に復習しないと現場で当日混乱するので留意しておくこと。1分タイマーをパソコンで準備しておく。		
実施報告			
内容	8:55- 竹村先生によるKOA学のガイダンス。その後、PC使用について説明(雑賀)、KOA学について(岡野):教室がかぶっていたので第二PC教室にて実施。 9:55- オリエンテーションDAYでの嵐山校外学習について、目的の説明。とにかくたくさん問いを立てて持ち帰ること。その問いの数でその後のアイデア出しやプレゼンの出来が左右される。 9:30- 自己紹介セッション。生徒36名+教員2名(竹村・岡野)で38名。19組が同時に相互で自己紹介をしていく。18回セッションを行ったところで最初のペアに戻ってしまうことがやりながらわかった。その後は適宜移動しながらまだ話していない相手を探して行った。綿密なシミュレーションが必要。		
受講者の反応	よい		
事後指導	特になし		
反省・課題	教室の確保を忘れない。自己紹介の事前シミュレーションを必ずする。給水。		
記録欄	 <p>1時間目 第2PCにてガイダンス</p> <p>234時間目 自己紹介</p> <p>38人がそれぞれ自己紹介をすると、76分かかります。 生徒数が奇数/偶数かに加えてペア数も奇数か偶数かを考えて組まなければならない…のか？ 生徒数が奇数の場合： 一人は休憩。残りの生徒はペアを作り、1分ずつ自己紹介をする。 休憩の生徒は手持ち無沙汰なので、ぬいぐるみを抱っこしておいてもらう。 (ぬいぐるみに座席を用意してはいけない。トラブルの原因となる。) 終了後、右回りで一つずつずれ、新たな自己紹介をする。</p> <p>生徒数が偶数の場合： 一人は終始同じ座席に座る。自己紹介終了後、その一人を残して 全員が右回りに一つずつずれ、新たな自己紹介する。</p>		
	報告者	岡野	

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】


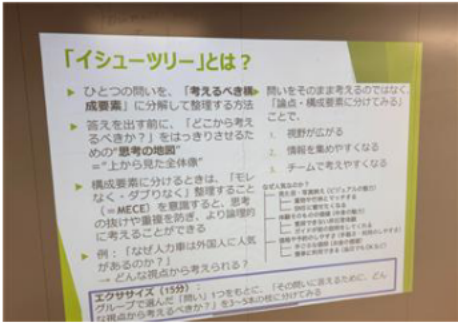
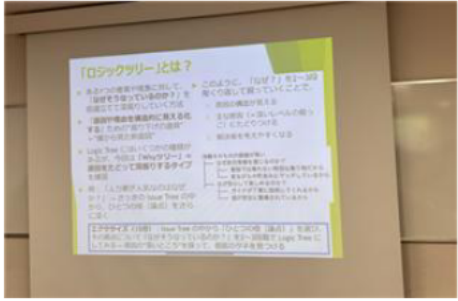
実施要項			
演題・講義内容	KOA学での学び		
講演者・指導者氏名(所属)	宮口 貴彰		(関西大学)
実施日時	令和 7年 4月15日 8時 55分 ~ 12時 45分	外部講師非対応	来校方法
授業名	KOA Global Studies I	受講対象	国際1年
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター
責任教員	岡野林太郎	指導教員	橋本千 竹村 岡野 雑賀 Wales Lafdal 村上
役割分担	宮口…講義		
目的	KOA学を担当いただく先生を知るとともに、KOA学で求められる思考を知る。		
講演・講義の概要	宮口先生の自己紹介および多角的思考力について 明日の嵐山フィールドワークで「問いの目」をもって歩けるようになること		
備考・その他	謝礼 あり(なし)		
実施報告			
内容	宮口先生の自己紹介 「問い」に関するワークショップ(嵐山フィールドトリップに向けて)		
受講者の反応	よい		
事後指導			
反省・課題			
記録欄	<p>そもそも「問い」ってなに？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なんで？」と思う心 ・「もやもや」を言葉にする力 ・「見えているけど、みえていないこと」を見つけ出すツール <p>自分なりの仮説を持っている人＝考え始めている人、行起こせる人/自分なりの「もしかして〇〇かも」という見立</p> <p>仮説は外れてもいい。常に「検証していく」こと</p> <p>ワークショップ 「あなたが最近見つけた『なぜ?』を三つ」 ペアでシェア→クラスで</p>  		
報告者	岡野		

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週末までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	オリエンテーション		
講演者・指導者氏名(所属)	竹村慎吾 岡野林太郎 雑賀巖 (本校教員)		
実施日時	令和 7年 4月19日 8時 55分 ~ 12時 45分	外部講師来校日時	来校方法
授業名	KOA Global Studies I	受講対象	国際1年 受講人数 42人
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター 謝礼 あり(なし)
責任教員	岡野林太郎	指導教員	竹村慎吾 岡野林太郎 雑賀巖
役割分担	竹村…全体説明、KOA学について 岡野…ガイダンス 雑賀…PCの使用について		
目的	問いを立てるということを通して問題を多角的に見る／TEDからプレゼンのコツをつかむ		
講演・講義の概要	①QFTイントロダクション(岡野) ②嵐山フィールドワーク後問いの共有(岡野) ③Office365ログイン作業(雑賀) ④TED(竹村)		
備考・その他	新しくなった中教室のプロジェクタシステムをどう活用できるか、教室の机配置も含めて計画が必要		
実施報告			
内容	8:55- Question Formulation Techniqueのワークショップを開催。問いを立てる活動にフォーカスして流れを経験してもらう。 9:55- 嵐山フィールドワーク振り返り:問いの共有-QFTを活用して問いを共有する(ロイロノート使用) 10:55- MS 365を今後多用していくので全員でログイン作業を行う 11:55- TED「ボディランゲージが人を作る」Amy Cuddyを観て、グループで「話の構成」「デリバリーの方法」などに関して気づき、意見を共有→自分のプレゼンにも活かせるようにする		
受講者の反応	よい		
事後指導	次回の授業では嵐山の問いをもとに「 이슈ツリー」を作って問題を分析する		
反省・課題	MS 365のセットアップに思いのほか時間がかかった。		
記録欄	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">  </div>		
報告者	岡野		

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	KOA学での学び		
講演者・指導者氏名(所属)	宮口 貴彰		(関西大学)
実施日時	令和 7年 4月15日 8時 55分 ~ 12時 45分	外部講師兼校口時	来校方法
授業名	KOA Global Studies I	受講対象	国際1年
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター
責任教員	岡野林太郎	指導教員	橋本千 竹村 岡野 雑賀 Wales Lafdal 村上
役割分担	宮口…講義		
目的	嵐山で見つけた問いの活用 問題分析の手法		
講演・講義の概要	前回まなんだQFTを活用し、嵐山の問いをOpen⇄Closedで変換、それを使ってイシューツリーを作る		
備考・その他	謝礼あり(なし)		
実施報告			
内容	<ul style="list-style-type: none"> 嵐山フィールドワークの問いから一つ、グループで選ぶ(オープンクエスチョン) MECE (Mutually Exclusive and Collectively Exhaustive)概念の説明 選んだ問いを用いてMECEを意識し「イシューツリー」「ロジックツリー」を作る(ロイロノート) 		
受講者の反応	よい		
事後指導			
反省・課題			
記録欄	<p>仮説を立てることの楽しさに気づくとにかくたくさんの意見(可能性)を出す多角的に掘り下げる</p>   		
	報告者	岡野	

* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週末までに運営委員会にて本書類を審議すること。
 * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】


実施要項			
演題・講義内容	1分間ピッチ／ガイアシンフォニー鑑賞		
講演者・指導者氏名(所属)	竹村慎吾 岡野林太郎 雑賀巖 (本校教員)		
実施日時	令和 7年 5月10日 8時 55分 ~ 12時 45分	外部講師来校日時	来校方法
授業名	KOA Global Studies I	受講対象	国際1年 受講人数 42 人
実施場所	視聴覚室	使用備品	プロジェクター 謝礼 あり(なし)
責任教員	岡野林太郎	指導教員	竹村慎吾 岡野林太郎 雑賀巖
役割分担	竹村…講評・アドバイス 岡野…司会・進行 雑賀…講評・アドバイス		
目的	TEDの分析を通して気づいたことを自分のプレゼンにも生かす		
講演・講義の概要	入学前に書いた「2040年に自分がどうなっているか、Only Oneになるために」という作文をもとに1分間のピッチを全員が回していく。デリバリーの部分で、GW課題だったTED動画視聴・分析をおして気づいたことを実践していく。 クラスメイトの様々な将来の夢、展望をシェアし、その後ガイアシンフォニーを鑑賞する。		
備考・その他			
実施報告			
内容	8:55- GW課題としてピッチの準備をすることになっていたので早速一人1分でピッチをしていく。 10:55- 後半はガイアシンフォニー鑑賞		
受講者の反応	よい		
事後指導	嵐山ビジネスチャレンジに戻り、個人プレゼン作成に向けて動き出す。		
反省・課題	ピッチとガイアシンフォニーの間があまりうまくつながらず、生徒たちも目的をあまりわかっていない様子だった。		
記録欄	<p>個人のピッチは6人ごとに小休止を入れ、少しずつ求めるパフォーマンスを上げていった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず話始める前に周囲を見渡す ・身振り手振りを交える ・一か所に立って話すのではなく数歩は歩く ・抑揚を使い分ける <p>など</p>		
報告者	岡野		

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】




実施要項			
演題・講義内容	KOA学での学び		
講演者・指導者氏名(所属)			
実施日時	令和 7年 5月13日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師依頼日時	来校方法
授業名	KOA Global Studies I	受講対象	国際1年
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター
責任教員	岡野林太郎	指導教員	橋本千 竹村 岡野 雑賀 Wales Lafdal 村上
役割分担	岡野…進行		
目的	嵐山で見つけた問いからビジネスプランを考えプレゼンする		
講演・講義の概要	プレゼンの概要、今後の予定など		
備考・その他			
実施報告			
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・嵐山フィールドワークの問いを再度グループでシェアする(GWを挟んだため) ・問いからアイデアを得るためのワークシートをもとに個人での作業に移行する ・QFTの「問いの作り替え」や「イシューツリー」「ロジックツリー」を作りながら作業を進める 		
受講者の反応	よい		
事後指導			
反省・課題			
記録欄	<p style="text-align: center;">KOA学：個人プレゼンテーション補足資料（2025年6月3日発表）</p> <p>プレゼンモデル例（構造図）</p> <p>【テーマ例】 「カフェに人が集中しているのはなぜか？」（観察→ニーズ→仮説→提案）</p> <p>観察： →（例）嵐山のある通りにだけ観光客が集中し、そこにあるカフェが大混雑していた。</p> <p>ニーズ： →（例）観光客は休憩したい、ゆっくり過ごしたい、SNSに映える場所を探している。</p> <p>仮説： →（例）有名カフェにネット検索が集中しているため、新しいカフェの情報が届きづらく、分散されない。</p> <p>提案： →（例）歩いた距離に応じて新たなおすすめ店がARで出現する「回遊型観光マップアプリ」。</p>		
	報告者	岡野	

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】



実施要項			
演題・講義内容	嵐山ビジネスチャレンジプレゼン準備／くらしの数字考ワーク		
講演者・指導者氏名(所属)	竹村慎吾 岡野林太郎 雑賀巖 (本校教員)		
実施日時	令和 7年 5月17日 8時 55分 ~ 12時 45分	外部講師来校日時	来校方法
授業名	KOA Global Studies I	受講対象	国際1年 受講人数 36 人
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター 謝礼 あり(なし)
責任教員	岡野林太郎	指導教員	竹村慎吾 岡野林太郎 雑賀巖
役割分担	竹村…講評・アドバイス 雑賀…講評・アドバイス 岡野…司会・進行		
目的	プレゼン準備(2コマ)／くらしの数字考の記事を使ってグラフの効果的な使い方を考える		
講演・講義の概要	日経新聞の「くらしの数字考」というコラムを活用して、グラフの読み方やプレゼンにおいてグラフや表、チャートなどの効果的な使い方について実践を通して学ぶ。		
備考・その他			
実施報告			
内容	8:55- 前回に続き嵐山ビジネスチャレンジの個人プレゼン準備。 10:55- くらしの数字考 グループワーク ・くらしの数字考から3つの記事を選び、まずはグラフのみを提示し、各グループでそれぞれのグラフを見てわかることについて話し合う。 ・その後それぞれの元記事を渡し、その内容に沿って、グラフを見せながら各グループ3分でプレゼンを作り、発表する。		
受講者の反応	よい		
事後指導	今後の和食プロジェクトにおいてより数字を用いたエビデンスを活用していく		
反省・課題			
記録欄			
報告者	岡野		

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】


実施要項			
演題・講義内容	嵐山ビジネスチャレンジ プレゼンテーション大会		
講演者・指導者氏名(所属)			
実施日時	令和 7年 5月20日 10時55分～12時45分	外部講師非対応日時	来校方法
授業名	KOA Global Studies I	受講対象	国際1年 受講人数 36人
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター 謝礼 あり(なし)
責任教員	岡野林太郎	指導教員	橋本千 竹村 岡野 雑賀 Wales Lafdal 村上
役割分担	岡野…進行		
目的	嵐山で見つけた問いからビジネスプランを考えプレゼンする		
講演・講義の概要	プレゼン大会、7月に行われる国際フェスティバル出場者の決定		
備考・その他			
実施報告			
内容	<p>以前一緒に嵐山を散策したグループ(その後の活動でも問題点の分析などを協力して行った)を解体し、それぞれのメンバーが他のグループのメンバーと一緒にできるように組みなおした。そのうえで、それぞれのグループで相互採点方式で最もすぐれたプレゼンを選び、7名が最終決戦の場で全員の前でプレゼンを行った。</p> <p>最終的には3名が国際フェスティバルへの出場を決めた。</p>		
受講者の反応	よい		
事後指導	出場する3名には当日のプレゼンを英語にするという指導が必要		
反省・課題	採点方法や当日のスムーズな運営、各予選グループの作り方などよりブラッシュアップの余地あり		
記録欄	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">    </div>		
報告者	岡野		

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週末までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】


実施要項				
演題・講義内容	京都文化博物館 特別展 「和食」観覧			
講演者・指導者氏名(所属)	橋本千佳 岡野林太郎 雑賀巖 (本校教員)			
実施日時	令和 7年 5月31日 9時 50分 ~ 12時 30分	外部講師来校日時		来校方法
授業名	KOA Global Studies I	受講対象	国際1年	受講人数 36 人
実施場所	校外	使用備品		謝礼 あり(なし)
責任教員	岡野林太郎	指導教員	橋本千佳 岡野林太郎 雑賀巖	
役割分担	引率			
目的	京都文化博物館 特別展 「和食」を観覧し、和食の歴史や幅広い食材に関する知識をえる。			
講演・講義の概要	和食の歴史や特殊性、現状や今後の展望に関する展覧会を通して、次のフェーズで行われる「和食の抱える課題」に関する学びの端緒とする。			
備考・その他				
実施報告				
内容	9:50 京都文化博物館前に集合 10:00- 観覧 ・生徒には事前に目的を共有しロイロノートで当日の課題を配布。 ・課題は①「和食の幅広い食材の中から興味を持ったものを3つ選び、その理由、そして展示を見たいうえで疑問に思ったことを問いの形で書きなさい」②「和食の強み」「和食に立ちはだかる課題」「和食の未来を考えるヒント」が読み取れる展示について写真付きで説明する。という2種。生徒は携帯で写真を撮り(許可されている)後ほどロイロノート上でワークシートに貼付して提出。			
受講者の反応	よい			
事後指導	6月に行われる平八茶屋、園部晋吾氏のワークショップにつなげる			
反省・課題	場所がわからずに少し遅れてしまった生徒がいた。			
記録欄	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>↓ワークシート(抜粋)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>↓展覧会の様子</p>  </div> </div>			
報告者	岡野			

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項					
演題・講義内容	WWL/SGHワークショップ 未来のナビゲーター				
講演者・指導者氏名(所属)	福原正大 (株式会社IGS)				
実施日時	令和 7年 6月 7日 10時 00分 ~ 11時 00分	外部講師非対口時	令和 6年 6月 8日 9時30分	来校方法	
授業名	KOA Global Studies I	受講対象	国際コース 高校1年生	受講人数	36 人
実施場所	アクティビティホール	使用備品	プロジェクター・スクリーン他	謝礼	あり(なし)
責任教員	岡野林太郎	担当教員	橋本千佳 岡野林太郎 雑賀巖 村上和宏		
役割分担	福原(講演) 岡野(司会)				
目的	これからの社会の変化と問題解決について				
講演・講義の概要	留学を控えた生徒たちに世界の現状とこれから必要とされる資質について講義を行うとともに、「世界の/未来のナビゲーター」というキーワードのもとになりたい自分について考えてもらう。				
備考・その他					
実施報告					
内容	世界の現状、日本国内だけでもますます広がる経済・社会格差 「留学に行ける」ことのアドバンテージをどう社会に還元できるか AIとの共存、ヒトにしかできないこと イノベーションを起こすために今必要とされている力				
受講者の反応					
事後指導					
反省・課題					
記録欄					
	報告者				

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	第1回留学説明会		
講演者・指導者氏名(所属)	橋本千佳 (国際部主任)		
実施日時	令和 7年 6月 7日 11時 10分 ~ 12時 40分	外部講師依頼日時	令和 年 月 日 時 分
授業名	KOA Global Studies I	受講対象	国際コース 高校1年生
実施場所	アクティビティホール	使用備品	プロジェクター・スクリーン他
責任教員	岡野林太郎	担当教員	橋本千佳 岡野林太郎 雑賀巖 村上和宏 Mike Wales
役割分担	橋本(講義) 岡野(司会・記録)		
目的	2年次に国際コース全生徒が対象となるカナダ・イギリスの留学についてのキックオフ説明会		
講演・講義の概要	多くの先輩の例を紹介しながら、高校時代の長期留学という機会が人生においてどのような役割を果しえるかについて。 今必要とされる力、留学先で深く学ぶために行うべき準備について。		
備考・その他			
実施報告			
内容	<p>留学の目的: 9つのKOA Global Skillsを伸ばし、世界で活躍するリーダーとなる</p> <p>①批判的思考力・問題解決能力②ネットワーク全体におけるコラボレーションと影響力によるリーダーシップ③敏捷性と適応力④イニシアチブと起業家精神⑤情報へのアクセス力と分析力⑥高等と書面でのきちんとしたコミュニケーション力⑦好奇心と想像力⑧英語運用能力⑨デジタルリテラシー</p> <p>これらのスキルを身に着けつつ、イギリス・カナダでの正規の中等教育を修める。</p>		
受講者の反応			
事後指導			
反省・課題			
記録欄			
	報告者	岡野	


- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週末までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	和食の現状と展望		
講演者・指導者氏名(所属)	園部晋吾 (山ばな平八茶屋)		
実施日時	令和 6年 5月18日 8時 55分 ~ 12時 45分	外部講師依頼日時	来校方法
授業名	KOA Global Studies I	受講対象	国際1年 受講人数 42人
実施場所	アクティビティホール	使用備品	プロジェクター、長机3脚ほか 謝礼 あり(なし)
責任教員	岡野林太郎	指導教員	橋本千佳 岡野林太郎 雑賀巖 Mike Wales Nordine Lafdal
役割分担	園部 (講義)		
目的	和食の定義、現在置かれている状況について学ぶ		
講演・講義の概要	400年の伝統を持つ料亭「山ばな平八茶屋」より園部晋吾氏にご来校いただき講義を受けた。「和食とは何か」「味とは」「出汁とは」などを第一線で活躍されている氏が実際に調理をしながら一つずつ教えてくださった。		
備考・その他			
実施報告			
内容	和食とは文科省の無形文化財に指定されている和食、その範疇にはカレーライスやオムライスなども含まれている。そのことからわかるように、「和食」の定義は人によってまちまちである。その中で特に伝統的な京料理にフォーカスし、和食のおかれている現状について学んだ。人は五味(甘、酸、苦、塩とうま味)を舌の味蕾で感じる。渋みと辛みは味覚ではなく口中の触覚で感じ取る。和食とは唯一、このうま味にフォーカスして発展してきた料理である。 実際に「昆布だし」、「昆布とカツオの一番だし」、「一番だしに塩で調味したもの」の3種類を味わうことでうま味の本来の姿を知ることができた。		
受講者の反応	よい		
事後指導			
反省・課題			
記録欄	 		
	報告者	岡野	

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】



実施要項				
演題・講義内容	和食プレゼンテーション準備			
講演者・指導者氏名(所属)	竹村慎吾 岡野林太郎 雑賀巖 (本校教員)			
実施日時	令和 7年 6月14日 8時 55分 ~ 12時 45分	外部講師来校日時		来校方法
授業名	KOA Global Studies I	受講対象	国際1年	受講人数 36 人
実施場所	図書館	使用備品	プロジェクター	謝礼 あり(なし)
責任教員	岡野林太郎	指導教員	竹村慎吾 岡野林太郎 雑賀巖	
役割分担	竹村…講評・アドバイス 雑賀…Microsoft 365に関して 岡野…講義			
目的	和食の現状・課題・提案に関するプレゼンテーションを作成する			
講演・講義の概要	和食展および園部氏の講義を通して考えた、和食の現状とその課題、及び課題解決のための提案と未来像についてグループプレゼンテーションを作成する。			
備考・その他				
実施報告				
内容	<p>AiGrowの結果をもとに組んだグループ単位で知識の共有、意見の交換、プレゼンの準備を行う。</p> <p>ロイノートの共有ノート機能およびMicrosoft 365の協働機能を活用し限られた時間の中で離れた場所でも作業を進めていく準備を整えた。</p> <p>それぞれのグループが自分たちの考える「和食の定義」を立てて、そこを出発点としてプレゼンを作り上げる。</p>			
受講者の反応	よい			
事後指導	資料の出典など、研究に関するマナーについても意識させる。			
反省・課題				
記録欄				
	報告者	岡野		

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	和食プレゼンテーション 作成準備		
講演者・指導者氏名(所属)			
実施日時	令和 7年 6月17日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師非対口時	来校方法
授業名	KOA Global Studies I	受講対象	国際1年
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター
責任教員	岡野林太郎	指導教員	橋本千 竹村 岡野 雑賀 Wales Lafdal 村上
役割分担	岡野…進行		
目的	和食の現状・課題・提言に関するプレゼンテーションの作成		
講演・講義の概要	プレゼンの概要、今後の予定など		
備考・その他			
実施報告			
内容	前回からの続き プレゼンを完成させリハーサルを重ねる		
受講者の反応	よい		
事後指導			
反省・課題			
記録欄			
		報告者	岡野



- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	和食プレゼンテーション 発表		
講演者・指導者氏名(所属)	園部晋吾(山ばな平八茶屋)		
実施日時	令和 7年 6月24日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師非対口時	来校方法
授業名	KOA Global Studies I	受講対象	国際1年
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター
責任教員	岡野林太郎	指導教員	橋本千 竹村 岡野 雑賀 Wales Lafdal 村上
役割分担	岡野…進行		
目的	和食の現状・課題・提言に関するグループプレゼンテーションを行う		
講演・講義の概要	園部氏の前回の講義の際に出された課題「和食の現状、課題、未来、提案」に沿ってそれぞれのグループがプレゼンテーションを行った。1位になったグループは7月25日に行われるInternational Festivalで英語プレゼンテーションを行う。		
備考・その他			
実施報告			
内容	全7グループが和食の未来に関する提言を行った。 新しい形態の和食を提供する店を作る、とか「手間」を「経験」と捉えた食材の通信販売などのアイデアが寄せられた。		
受講者の反応			
事後指導			
反省・課題			
記録欄	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
	報告者	岡野	

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週末までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	長期課題キックオフ		
講演者・指導者氏名(所属)	宮口 貴彰(関西大学)		
実施日時	令和 7年 6月24日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師非対応時	来校方法
授業名	KOA Global Studies I	受講対象	国際1年
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター
責任教員	岡野林太郎	指導教員	橋本千 竹村 岡野 雑賀 Wales Lafdal 村上
役割分担	岡野…進行		
目的	「食」をテーマにした長期課題のキックオフ		
講演・講義の概要	発酵食品／米・大豆／漬物に使う野菜／和の甘味／茶など和食と切り離せない食材カテゴリーから自分の興味に合わせてグループを形成し、長期課題への取り組みをスタートさせる。		
備考・その他			
実施報告			
内容	全7グループが和食の未来に関する提言を行った。 新しい形態の和食を提供する店を作る、とか「手間」を「経験」と捉えた食材の通信販売などのアイデアが寄せられた。		
受講者の反応			
事後指導			
反省・課題			
記録欄	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
	報告者	岡野	


- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	途上国から世界に通用するブランドを作る		
講演者・指導者氏名(所属)	月原光基(マザーハウス)		
実施日時	令和 7年 7月24日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師非対口時	来校方法
授業名	KOA Global Studies I	受講対象	国際1年 受講人数 36 人
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター 謝礼 あり(なし)
責任教員	岡野林太郎	指導教員	橋本千 竹村 岡野 雑賀 Wales Lafdal 村上
役割分担	岡野…進行		
目的	途上国への支援とは単にお金やものを送るだけではないということを学ぶ		
講演・講義の概要	マザーハウス大阪本店店長の月原氏をお招きし、マザーハウスの理念や活動を通して本当に必要な形の支援について考える機会とする。		
備考・その他			
実施報告			
内容	マザーハウスはバングラデシュやミャンマー、ネパール、インドなど途上国の職人の高い技術と日本のデザインとを掛け合わせ、世界に通用するカバンやストール、宝飾品を製作・販売している会社である。社長の山口氏の理念や日々の活動、現地の職人や素材のプロバイダとの関係性を通して、単にものを差し出すだけの支援ではなく、彼らが誇りをもって日々を過ごせることこそが大切であるということに気づかされた。		
受講者の反応			
事後指導			
反省・課題			
記録欄	<p>生徒感想：</p> <p>私はマザーハウスの取り組みや山口絵理子さんの生き方について学び、「援助ではなく、一緒に価値をつくる」という姿勢にとっても心を動かされました。普通は「途上国＝貧しい、助ける対象」と考えてしまいがちですが、山口さんはそこに眠る素材や技術に目を向け、「世界に通用するブランド」をつくりあげました。その挑戦は簡単なことではなかったと思いますが、現地の人を信じ、力を合わせて新しい価値を生み出す姿勢は本当に素晴らしいと思いました。私自身も、困難を前にしたときに「できない理由」を探すのではなく、「どうすれば一緒にできるか」を考えて挑戦する人でありたいと思いました。</p>		
			
		報告者 岡野	

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週末までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	長期課題 リサーチフェアに向けてKickOff		
講演者・指導者氏名(所属)	宮口 貴彰(関西大学)		
実施日時	令和 7年 8月26日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師非対応時	来校方法
授業名	KOA Global Studies I	受講対象	国際1年 受講人数 36 人
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター 謝礼 あり(なし)
責任教員	岡野林太郎	指導教員	橋本千 竹村 岡野 雑賀 Wales Lafdal 村上
役割分担	岡野…進行		
目的	夏休み課題をシェアしてグループでリサーチクエスチョンを立てる		
講演・講義の概要備考・その他	異なる視点から同じ食材を見たときに浮かび上がる問題点を共有、俯瞰し全体像を捉える		
実施報告			
内容	夏休みの課題(一次情報をそれぞれの視点で集める)を通して見えてきた問題点をグループで共有し、それぞれがだした情報を俯瞰していく。似ている点や矛盾している点を挙げその中からグループとして「問題」を3つ選ぶ。AIを活用し「それらの問題点への取り組みが現在なされているか」や「関連した問題が存在するか」などをチェックする。最終的に理由を含めて問題を一つ絞り込む。プロセスは付箋、模造紙などを使い視覚化していく。		
受講者の反応			
事後指導			
反省・課題	夏休みの課題の進め方、質に隔たりがあり、グループ内で全員が対等に取り組めていたか。		
記録欄			
	報告者	岡野	

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	長期課題 グループごとに自分たちが選んだカテゴリの「問題点」を明らかにする			
講演者・指導者氏名(所属)	宮口 貴彰(関西大学)			
実施日時	令和 7年 9月2日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師非対応		来校方法
授業名	KOA Global Studies I	受講対象	国際1年	受講人数 36 人
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター	謝礼 あり(なし)
責任教員	岡野林太郎	指導教員	岡野 雑賀 Wales 村上	
役割分担	岡野…進行			
目的	問題点を明らかにして要旨に取り掛かる			
講演・講義の概要	解決策ではなく、問題を洗い出し、その裏付けを行う			
備考・その他				
実施報告				
内容	「問題の説明」と「主原因とその理由」を文章化してグループごとに提出する。			
受講者の反応				
事後指導				
反省・課題				
記録欄	<p>「問題」をどう書く？</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 解決策は入れない 2. 4W1Hを入れる(Whyは理由になるので入れない) 3. 数字や比較を入れる 4. 焦点を一つに絞る 5. 出典と年を書く <p>→「(どこで)(誰/何の)(どの指標)が(どの期間)に(どの程度)変化し、(誰にどんな影響)が出ている」</p>			
	報告者	岡野		

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	前回までに作成した「説明文」「要約」に基づきスライド・ポスターの作成を開始する		
講演者・指導者氏名(所属)			
実施日時	令和 7年 9月6日 8時 55分 ~ 12時 45分	外部講師依頼日時	来校方法
授業名	KOA Global Studies I	受講対象	国際1年
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター
責任教員	岡野林太郎	指導教員	竹村 岡野 雑賀 村上
役割分担	岡野…進行		
目的	関学リサーチフェアに向けて「説明文」「要約」を仕上げる		
講演・講義の概要	それぞれのグループが必要な作業を手分けして行う		
備考・その他			
実施報告			
内容	10月17日に関西学院大学総合政策学部において行われる「関学リサーチフェア」への出場を目指して各チームが自分たちの研究をまとめる。次回の授業で提出する説明文・要約の完成を目指す。		
受講者の反応			
事後指導			
反省・課題			
記録欄	各チームに分かれて作業		
		報告者	岡野

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	関学リサーチフェアに向けて「説明文」「要約」を仕上げる		
講演者・指導者氏名(所属)	宮口 貴彰(関西大学)		
実施日時	令和 7年 9月9日 10時 35分 ~ 12時 05分	外部講師非対応時	来校方法
授業名	KOA Global Studies I	受講対象	国際1年
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター
責任教員	岡野林太郎	指導教員	竹村 岡野 雑賀 Wales 村上
役割分担	岡野…進行		
目的	関学リサーチフェアに向けて「説明文」「要約」を仕上げる		
講演・講義の概要	それぞれのグループが必要な提出物を手分けして仕上げ、提出する		
備考・その他			
実施報告			
内容	<p>説明文(1000字程度)は ①背景②問題③目的④方法⑤結論・提案の順でセクションを分けて作成する。 その後、その説明文を要約する形で要旨(250字程度)にまとめ、最終的に両者をGoogle Classroomで提出する。</p>		
受講者の反応			
事後指導			
反省・課題			
記録欄	<p>書き上げた説明文をChat GPTに読ませ、論理的か、必要な情報は出ているかといった観点からブラッシュアップしていく。</p>		
	報告者	岡野	

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	前回までに作成した「説明文」「要約」に基づきスライド・ポスターの作成を開始する		
講演者・指導者氏名(所属)			
実施日時	令和 7年 9月27日 8時 55分 ~ 12時 45分	外部講師非対応	来校方法
授業名	KOA Global Studies I	受講対象	国際1年
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター
責任教員	岡野林太郎	指導教員	竹村 岡野 雑賀 村上
役割分担	岡野…進行		
目的	関学リサーチフェアに向けてスライド・ポスター・スクリプトの作成		
講演・講義の概要	それぞれのグループが必要な作業を手分けして行う		
備考・その他			
実施報告			
内容	<p>前回のクラスに引き続きグループでの作業。 適宜教員が入りアイデアの実現可能性、論理的整合性について質問を交え指導を行う。今回と次回の授業でプレゼンの骨子を完成させ10月7日の授業で口頭にて発表を行う。</p>		
受講者の反応			
事後指導			
反省・課題			
記録欄	各チームに分かれて作業		
		報告者	岡野

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	前回までに作成した「説明文」「要約」に基づきスライド・ポスターの作成を開始する		
講演者・指導者氏名(所属)			
実施日時	令和 7年 10月4日 8時 55分 ~ 12時 45分	外部講師非対口時	来校方法
授業名	KOA Global Studies I	受講対象	国際1年
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター
責任教員	岡野林太郎	指導教員	竹村 岡野 雑賀 村上
役割分担	岡野…進行		
目的	関学リサーチフェアに向けてスライド・ポスター・スクリプトの作成		
講演・講義の概要	それぞれのグループが必要な作業を手分けして行う		
備考・その他			
実施報告			
内容	前回のクラスに引き続きグループでの作業。 適宜教員が入りアイデアの実現可能性、論理的整合性について質問を交え指導を行う。授業でプレゼンの骨子を完成させ次回の授業で口頭にて発表を行う。		
受講者の反応			
事後指導			
反省・課題			
記録欄	各チームに分かれて作業		
		報告者	岡野

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	口頭試問を経て関学リサーチフェア、全国高校生フォーラム等の出場チームを決定			
講演者・指導者氏名(所属)	宮口 貴彰(関西大学)			
実施日時	令和 7年 10月 7日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師非対応		来校方法
授業名	KOA Global Studies I	受講対象	国際1年	受講人数 36 人
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター	謝礼 あり(なし)
責任教員	岡野林太郎	指導教員	竹村 岡野 雑賀 村上	
役割分担	岡野…進行			
目的	口頭試問を経て関学リサーチフェア、全国高校生フォーラム等の出場チームを決定			
講演・講義の概要	口頭試問を経て関学リサーチフェア、全国高校生フォーラム等の出場チームを決定			
備考・その他				
実施報告				
内容	各チーム15分でプレゼン、骨子の説明、質問セッションを行い、今後の各種大会への出場チームを確定させる。 高校生フォーラム出場→「米チーム」 関学リサーチフェア出場→「漬物野菜チーム」「和の甘味素材チーム I」「米チーム」 「発酵食品チーム I」「お茶チーム I」			
受講者の反応				
事後指導				
反省・課題				
記録欄	関学リサーチフェア、「発酵食品 I」と「お茶 I」はポスターでの出場			
			報告者	岡野

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	前回までに作成した「説明文」「要約」に基づきスライド・ポスターの作成を開始する		
講演者・指導者氏名(所属)			
実施日時	令和 7年 10月25日 8時 55分 ~ 12時 45分	外部講師依頼日時	来校方法
授業名	KOA Global Studies I	受講対象	国際1年
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター
責任教員	岡野林太郎	指導教員	竹村 岡野 雑賀 村上
役割分担	岡野…進行		
目的	関学リサーチフェアに向けてスライド・ポスター・スクリプトの作成		
講演・講義の概要	それぞれのグループが必要な作業を手分けして行う		
備考・その他			
実施報告			
内容	清風南海で行われる「国際シンポジウム」出場チームと関学リサーチフェア出場チームはそれぞれポスター、スライドの完成を目指す。他のチームも同様にプレゼンテーションの完成に向けて作業を進める。		
受講者の反応			
事後指導			
反省・課題			
記録欄	各チームに分かれて作業		
		報告者	岡野



- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	関学リサーチフェアに向けてプレゼン練習(最終)			
講演者・指導者氏名(所属)	宮口 貴彰(関西大学)			
実施日時	令和 7年 11月11日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師兼校口時		来校方法
授業名	KOA Global Studies I	受講対象	国際1年	受講人数 36 人
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター	謝礼 あり(なし)
責任教員	岡野林太郎	指導教員	竹村 岡野 雑賀 Wales 村上 橋本	
役割分担	岡野…進行			
目的	今週末に行われる関学リサーチフェアに向け、出場チームは最終のプレゼン練習を行う。			
講演・講義の概要	プレゼン、ポスター発表において必要なことを再確認する。			
備考・その他				
実施報告				
内容	ポスター発表2チームと口頭発表3チームがそれぞれ教員の前で模擬プレゼンを行う。 リサーチフェアを週末に控え、最終調整の機会となる。			
受講者の反応				
事後指導				
反省・課題				
記録欄	口頭発表を控えている3チーム(和菓子・米・つけもの)とポスター発表を行う2チーム(みそ・茶)を対象に別室で1チームごとのパフォーマンスを教員が見てフィードバックを行う。その間他のチームは自分たちのプレゼンを準備する。			
			報告者	岡野


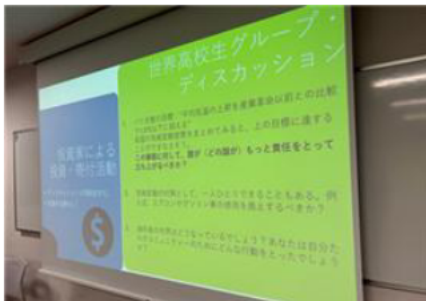
- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週末までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	温暖化ガスの排出と地球の未来について		
講演者・指導者氏名(所属)	井ノ口 明子(国連FAO)		
実施日時	令和 7年 11月25日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師依頼日時	来校方法
授業名	KOA Global Studies I	受講対象	国際1年
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター
責任教員	岡野林太郎	指導教員	竹村 岡野 雑賀 Lafdal Wales 村上 橋本 宮口
役割分担	岡野…進行		
目的	国連FAOでフォレスターとして活動する井ノ口明子氏から環境問題について講義を受ける		
講演・講義の概要備考・その他			
実施報告			
内容	・二酸化炭素排出量について、現状と目指すべき未来。		
受講者の反応			
事後指導			
反省・課題			
記録欄	<ul style="list-style-type: none"> ・小グループを作り、世界の様々な地域に住む高校生になりきってのディスカッションを行う。 ・2015年パリ合意と今年のCOP30での見直し、アメリカのパリ合意離脱などを通して環境政策がどのように変化していったのか。 ・国別のGHG排出量とそれぞれの国の国民一人当たりの排出量。 ・GHG排出の多くを占めるのはどのような活動か。 ・未来に希望は持てそう？期待をもちそうな動向(トレンド)は？ —化石燃料を使わずに飛ぶ飛行機、バイオマス燃料の一般化 ・井ノ口先生の半生を通して学ぶ国際的な舞台での活動とキャリア形成 		
			
		報告者 岡野	

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	温暖化ガスの排出と地球の未来について			
講演者・指導者氏名(所属)	井ノ口 明子(国連FAO)			
実施日時	令和 7年 12月9日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師非対応時		来校方法
授業名	bv	受講対象	国際1年	受講人数 34 人
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター	謝礼 あり(なし)
責任教員	岡野林太郎	指導教員	竹村 岡野 雑賀 Lafdal Wales 村上 橋本 宮口	
役割分担	岡野…進行			
目的	国連FAOでフォレスターとして活動する井ノ口明子氏から環境問題について講義を受ける			
講演・講義の概要	前回の講義を下敷きにして生徒たちによるロールプレイのワークショップを行う			
備考・その他				
実施報告				
内容	世界の異なる立場の人になりきって、環境問題に対して誰が責任を負うべきか、ロールプレイを通して理解し、自分たちの意見を形成する。			
受講者の反応				
事後指導				
反省・課題				
記録欄	<p>・34名の生徒がそれぞれ役割を担いワークショップを行う。</p> <p>・役割は「世界の高校生(中国・アメリカ・日本・ブラジル・バヌアツ)」「投資家」「UN Conference Leader」「高校生世界市民」</p> <p>①世界の高校生によるディスカッション(誰が温室効果ガス排出削減を主導するのか)</p> <p>②投資家による投資(良いアイデアが出るたびにトークン(カード)を渡していく)</p> <p>③ディスカッションを通して出された意見を吸い上げてConference LeadersがUNで行うスピーチを作る</p> <p>④スピーチを聞き、「高校生世界市民」はLeaderの中から一人選ぶ</p> <p>⑤WrapUp 普段の国連FAOでの意思決定の仕方、仕事の進め方と今日のワークショップをつなげる</p>			
				
	報告者 岡野			

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	長期課題準備、AiGrow、井ノ口氏講演・ワークショップ振り返り			
講演者・指導者氏名(所属)	本校教員			
実施日時	令和 7年 12月13日 8時 55分 ~ 12時 45分	外部講師非対応時		来校方法
授業名	KOAグローバルスタディーズ	受講対象	国際1年	受講人数 34 人
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター	謝礼 あり(なし)
責任教員	岡野林太郎	指導教員	竹村 岡野 雑賀 村上	
役割分担	岡野…進行			
目的	1月の研究成果発表大会に向けてプレゼン準備をおこなう。			
講演・講義の概要				
備考・その他				
実施報告				
内容	1限目: AiGrowおよび井ノ口氏講演の振り返り 2~4限目: 研究成果発表大会準備			
受講者の反応				
事後指導				
反省・課題				
記録欄	特になし			
			報告者	岡野

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項					
演題・講義内容 研究発表大会に向けて					
講演者・指導者氏名(所属) 宮口 貴彰(関西大学)					
実施日時	令和 7年 12月16日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師非対口時		来校方法	
授業名		受講対象	国際1年	受講人数	34 人
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター	謝礼	あり(なし)
責任教員	岡野林太郎	指導教員	竹村 岡野 雑賀 Wales 村上 宮口		
役割分担	岡野…進行				
目的	1月の研究成果発表大会に向け、ポスターとスライド、スクリプトの最終仕上げに入る				
講演・講義の概要	グループごとに作業				
備考・その他					
実施報告					
内容	高校生フォーラムに参加するグループは宮口先生による指導。 その他のグループは本校教員によって各項目をチェック。				
受講者の反応					
事後指導					
反省・課題					
記録欄	各自作業のため特記事項無し。				
				報告者	岡野

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項					
演題・講義内容 研究発表大会に向けてのクラス内発表会					
講演者・指導者氏名(所属)					
実施日時	令和 8年 1月10日 8時 55分 ~ 12時 45分	外部講師依頼日時		来校方法	
授業名		受講対象	国際1年	受講人数	34 人
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター	謝礼	あり(なし)
責任教員	橋本千佳	指導教員	村上 橋本		
役割分担	橋本…進行				
目的	研究成果発表大会でのステージ発表・ポスター発表の割り当てを決めるための最終選考				
講演・講義の概要	ポスターの展示とスライドを使用したの発表				
備考・その他					
実施報告					
内容	前半は各グループ内での最終調整とリハーサル 後半はビデオカメラ(および他グループ)の前で7分のプレゼン、3分の質疑応答(全8グループ)				
受講者の反応					
事後指導					
反省・課題					
記録欄	<p>冬休み明けの最初のKOAの授業で発表ということもあり、どのチームも硬さが残っていた。ビデオを関係者全員が見て、その中から以下の結果となった。</p> <p>ステージ発表 つけものグループ</p> <p>ポスター発表 和の甘味素材1、2 米 発酵食品1、2 茶1、2 (全7グループ)</p>				
	報告者	岡野			

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	研究発表大会に向けてのクラス内発表会			
講演者・指導者氏名(所属)				
実施日時	令和 8年 1月24日 8時 55分 ~ 12時 45分	外部講師依頼日時		来校方法
授業名		受講対象	国際1年	受講人数 34 人
実施場所	光楠館4階各教室	使用備品	プロジェクター	謝礼 あり(なし)
責任教員	岡野林太郎	指導教員	竹村 村上 雑賀 橋本 岡野	
役割分担	岡野…進行			
目的	研究成果発表大会でのステージ・ポスター発表に向けてパフォーマンスの最終調整			
講演・講義の概要	自分たちのポスター・スライドの内容に間違いやスペルミスがないか、スクリプトとの間に齟齬がないかを確認するためにGoogle Geminiを使用してフィードバックを得る。パフォーマンスをビデオに録り、そのビデオを使用して、デリバリなどの面で改善点がないか確認する。			
備考・その他				
実施報告				
内容	前半は各グループ内でポスター、スライドの確認・修正 後半はグループごとに空き教室に移動し、ビデオ撮影→Youtubeで限定公開→そのURLをGeminiに送り、AIから見たパフォーマンスの改善点などアドバイスを出してもらう。			
受講者の反応				
事後指導				
反省・課題				
記録欄				
			報告者	岡野

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	外部講師によるビジネスアントレプレナー講義		
講演者・指導者氏名(所属)	三菱UFJ銀行MUFGファミリービジネス総合研究所／神戸大学大学院講師 松平和大氏ほか		
実施日時	令和 8年 1月31日 8時 55分 ~ 12時 45分	外部講師非対応	来校方法
授業名		受講対象	国際1年
実施場所	光楠館4階各教室	使用備品	プロジェクター
責任教員	岡野林太郎	指導教員	竹村 村上 雑賀 橋本 岡野
役割分担	岡野…進行		
目的	ベトナムを舞台にしたビジネスチャレンジプレゼンのキックオフ		
講演・講義の概要	これまでの長期課題研究に一旦区切りをつけ次のフェーズに入る。ベトナムでのビジネスを考え、ベトナム研修の際にプレゼンができるようにアイデアを磨いていく。キックオフとしてMUFGよりゲスト講師をお招きし、留学や海外生活といった話から起業についてまで幅広い講義・ワークショップをしていただく。		
備考・その他			
実施報告			
内容	1限:PEST分析でベトナムを調べる。(Politics/Economics/Society/Technology)を軸にベトナムを分析し、まずは対象について知る。 2限~4限:銀行業務、銀行の役割、仕事の内容、海外生活、起業などに関して授業		
受講者の反応			
事後指導	ここからグループに分かれ、それぞれがビジネスプランを作り、3月10日(火)に発表する。		
反省・課題			
記録欄			
		報告者	岡野

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	ベトナムビジネスチャレンジに向けて			
講演者・指導者氏名(所属)	村上			
実施日時	令和 8年 2月17日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師非対応		来校方法
授業名		受講対象	国際1年	受講人数 34 人
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター	謝礼 あり(なし)
責任教員	岡野林太郎	指導教員	竹村 橋本 岡野 雑賀 Wales 村上 Lafdal	
役割分担	岡野…進行			
目的	ベトナムという国についてさらに深く知り、ビジネスアイデアを形にする			
講演・講義の概要	ベトナムについて、またベトナムでの研修について本校の村上先生よりレクチャー			
備考・その他				
実施報告				
内容	ベトナムについて、またベトナムでの研修について本校の村上先生よりレクチャー。その後今回のプロジェクトを進めるグループを発表し、それまでに個人で進めてきたPEST分析の内容を持ち寄って共有。 今回のグループ分けにはAiGrowの結果を反映させた。			
受講者の反応				
事後指導				
反省・課題				
記録欄				
			報告者	岡野

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容			
講演者・指導者氏名(所属)			
実施日時	令和 8年 2月7日 8時 55分 ~ 12時 45分	外部講師依頼日時	来校方法
授業名		受講対象	国際1年
実施場所	光楠館4階各教室	使用備品	プロジェクター
責任教員	岡野林太郎	指導教員	竹村 村上 雑賀 橋本 岡野
役割分担	岡野…進行		
目的	ベトナムを舞台にしたビジネスチャレンジプレゼンに向けてアイデアを具体化する		
講演・講義の概要備考・その他			
実施報告			
内容	ベトナムに関して前回グループで行ったPEST分析をクラス全体で共有し、集合知としてどの生徒でもアクセスできるようにした。それを踏まえて今回はブレインストーミングで複数のアイデアを出し合い、「ビジネスモデルキャンバス」や「SWOT分析」を活用しグループで絞っていく。クラス・グループでのアイデアの共有にはロイロノートを活用。 この4時間でのゴールはラフなところから発散→収斂を経てアイデアを絞り込み、そのビジネスモデルが実用に耐えるかどうかについて分析をすること。その後実際にプレゼンをするために効果的な見せ方、切り口を考えること、可能なシナリオに着		
受講者の反応			
事後指導	ここからグループに分かれ、それぞれがビジネスプランを作り、3月10日(火)に発表する。		
反省・課題			
記録欄			
	報告者	岡野	

* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週末までに運営委員会にて本書類を審議すること。
* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	ベトナムビジネスチャレンジに向けて			
講演者・指導者氏名(所属)				
実施日時	令和 8年 2月17日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師依頼日時		来校方法
授業名		受講対象	国際1年	受講人数 34 人
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター	謝礼 あり(なし)
責任教員	岡野林太郎	指導教員	竹村 橋本 岡野 雑賀 Wales 村上 Lafdal	
役割分担	岡野…進行			
目的	3月10日(火)のビジネスチャレンジの発表会に向けスライドとスクリプトの作成			
講演・講義の概要	グループごとに作業			
備考・その他				
実施報告				
内容	本校教員、グループメンバーと対話を重ね完成に近づける。 スライドとスクリプトの提出期限は3月7日(土)。			
受講者の反応				
事後指導				
反省・課題				
記録欄	各自作業のため特記事項無し。			
			報告者	岡野

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	ベトナムビジネスチャレンジに向けて			
講演者・指導者氏名(所属)				
実施日時	令和 8年 2月24日 10時 55分 ~ 12時 45分	外部講師依頼日時		来校方法
授業名		受講対象	国際1年	受講人数 34 人
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター	謝礼 あり(なし)
責任教員	岡野林太郎	指導教員	竹村 橋本 岡野 雑賀 Wales 村上 Lafdal	
役割分担	岡野…進行			
目的	3月10日(火)のビジネスチャレンジの発表会に向けスライドとスクリプトの作成			
講演・講義の概要	グループごとに作業			
備考・その他				
実施報告				
内容	本校教員、グループメンバーと対話を重ね完成に近づける。 スライドとスクリプトの提出期限は3月7日(土)。			
受講者の反応				
事後指導				
反省・課題				
記録欄	各自作業のため特記事項無し。			
			報告者	岡野

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	ベトナムビジネスチャレンジに向けて			
講演者・指導者氏名(所属)				
実施日時	令和 8年 3月7日 8時 55分 ~ 12時 45分	外部講師依頼日時		来校方法
授業名		受講対象	国際1年	受講人数 34 人
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター	謝礼 あり(なし)
責任教員	岡野林太郎	指導教員	竹村 橋本 岡野 雑賀 Wales 村上 Lafdal	
役割分担	岡野…進行			
目的	3月10日(火)のビジネスチャレンジの発表会に向けスライドとスクリプトの作成			
講演・講義の概要	グループごとに作業			
備考・その他				
実施報告				
内容	スライドとスクリプトの提出期限。 それぞれのチームに分かれて模擬発表を繰り返しつつ修正点を見つける。			
受講者の反応				
事後指導				
反省・課題				
記録欄	各自作業のため特記事項無し。			
			報告者	岡野

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	ベトナムビジネスチャレンジ プレゼン			
講演者・指導者氏名(所属)				
実施日時	令和 8年 3月10日 10時 35分 ~ 12時 15分	外部講師依頼日時		来校方法
授業名		受講対象	国際1年	受講人数 34 人
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター	謝礼 あり(なし)
責任教員	岡野林太郎	指導教員	竹村 橋本 岡野 雑賀 Wales 村上 Lafdal	
役割分担	岡野…進行			
目的	MUFGからゲスト審査員をお招きしてビジネスチャレンジの発表会			
講演・講義の概要	各グループが5分(プレゼン)+5分(質疑・講評)で発表を行う。			
備考・その他				
実施報告				
内容	<p>スライドとスクリプトの提出期限。</p> <p>それぞれのチームに分かれて模擬発表を繰り返しつつ修正点を見つける。ビジネスの第一線にいらっしゃる銀行の方々から直接講評をもらう。</p>			
受講者の反応				
事後指導				
反省・課題				
記録欄	<p>ベトナムビジネスチャレンジ。発表は7チーム</p> <p>①ベトナムでの大気汚染から健康を守る新しいマスク</p> <p>②もみ殻を使った新しい建材 Hush Husk</p> <p>③コーヒーの実の外皮(カスカラ)を活用したハンドクリームの製造</p> <p>④コーヒーかすを活用した消臭効果も期待できる</p> <p>⑤日本で集めた学校の制服に第2の人生を与えるサービスMAKI</p> <p>⑥ベトナムでのバイクに変わる新しい移動手段電動自転車シェアサービス</p> <p>⑦サトウキビの廃棄物から作られるカーテン</p> <p>1位②</p> <p>2位④</p> <p>3位①</p> <p>審査員特別賞⑤</p>			
報告者	岡野			

* WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
 * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を